

令和5年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 久万高原地域食材伝承事業費
(2) 事業期間 令和4年度～令和6年度
(3) 所管 農林水産振興部 農業振興課 地域農業育成室 久万高原農業指導班
(4) 予算額 1,271千円

2 事業目的

久万高原地域において、軽量で高齢者にも取り組みやすく、古くから栽培されている「雑穀」に注目し、雑穀の生産振興をはじめ、雑穀を利用した郷土料理の伝承や新たな商品開発等を支援する。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 雑穀の生産振興

- 「地とうきび」、「たかきび」、「こきび」の雑穀の展示ほを3か所に設置した。
- 農業指導班実証ほ場において雑穀を育苗した後、希望農家に配布するとともに、定植から栽培期間中に巡回を行い、安定生産技術を指導した。



図1 上浮穴高校生を対象とした収穫体験

(2) 郷土料理の伝承活動

- 町内2か所の小学校児童を対象に、雑穀を使用した料理講座を開催し、郷土料理の紹介を行うとともに、上浮穴高校生を対象に雑穀の収穫・脱穀体験を実施した。(図1)

(3) 雑穀の新たな商品開発

- 町内の飲食店や宿泊施設等を対象に、専門家による雑穀を使用したメニューの調理講習を開催した。
- 外国人モニターツアーや町内の収穫祭で「たかきび」を代替肉として使用した「クーマカレー」のPRを行った。
- 上浮穴高校と連携し、「クーマカレー」を使用した新商品の開発を支援した。
- 町内の福祉施設「指定障害福祉サービス事業所パステル工房」と連携し、「地とうきび」を使用したマドレーヌ、クッキー、ショートブレッドの開発を支援し、中予地方局で販売会を開催した。



図2 メニュー化されたクーマカレー

4 成果（何がどう変わったか）

- 新たに雑穀栽培者が3名増加し、地域内の栽培者は17名(前年:14名)、栽培面積は230a(前年比:105%)となった。
- 町内の「道の駅みかわ」のレストランで「クーマカレー」がメニュー化され、一般販売が開始された(図2)。
- 上浮穴高校では「クーマカレー」を使用したカレーパンを開発し、町内のイベント等において販売した。
- 町内の道の駅や松山市内のデパート等で、町内の福祉施設「パステル工房」が開発した3商品の一般販売が開始され、雑穀の需要創出につながった。